



よく寄せられる質問

- よく寄せられる質問 (1 ページ)

よく寄せられる質問

Unified Communications Manager のリリースからアップグレードするか、また **IM and Presence Service** は新しいリリースとは異なる要件を持つ仮想環境の要件を満たしています。どうすればよいのですか。

次の情報を使用して、新しいリリースの要件を確認します。新しいリリースの要件を確認した後、手順に[仮想マシン設定タスク](#)についてはを参照してください。

表 1: 仮想マシンの要件

項目	説明
OVA テンプレート	<p>OVA ファイルには、仮想マシン設定用の一連の定義済みテンプレートが用意されています。サポートされているキャパシティレベル、必要な OS/VM/SAN の配置などの項目について説明します。Unified Communications Manager および IM and Presence Service アプリケーション用に提供された OVA ファイルから VM 設定を使用する必要があります。</p> <p>OVA ファイルから使用する正しい VM 設定は、展開のサイズに基づいています。OVA ファイルの詳細については、https://www.cisco.com/c/dam/en/us/td/docs/voice_ip_comm/uc_system/virtualization/collaboration-virtualization-sizing.html の「Unified Communications 仮想化のサイジングに関するガイドライン」のトピックを検索してください。</p>

項目	説明
VMware vSphere ESXi	<p>リリースの互換性とサポート要件を満たす vSphere ESXi ハイパーバイザのバージョンをインストールする必要があります。</p> <p>Cisco Prime Collaboration Deployment (PCD) を使用してアップグレードまたは移行を実行する場合は、正しいライセンスタイプで vSphere ESXi がインストールされていることも確認する必要があります。PCD は、vSphere ESXi のすべてのライセンスタイプと互換性がありません。これらのライセンスの一部では、必要な VMware Api が有効になっていないためです。</p>
VMware vCenter	<p>VMware vCenter は、Business Edition 6000/7000 Unified Communications Manager アプライアンス IM and Presence Service、または UCS テスト済みリファレンス構成ハードウェアで UC 上に展開する場合はオプションです。</p> <p>VMware vCenter は、UC に UCS 仕様ベースおよびサードパーティ製のサーバ仕様ベースのハードウェアに導入する場合に必須です。</p>

項目	説明
VM 設定の仮想ハードウェア仕様	<p>またはUnified Communications ManagerIM and Presence Serviceの新しいリリースにアップグレードするために、VM の仮想ハードウェア仕様を変更する必要があるかどうかを確認します。</p> <p>Unified Communications Manager または IM and Presence Service リリース 15バージョンには、現在実行しているよりも多くのvRAMが必要な場合があります。古いリリースバージョンに十分なvRAM サイズがない場合、IM and Presence Service リリース 15への直接アップグレードは失敗します。</p> <p>Unified Communications Manager または IM and Presence Service リリース 15バージョンでは、現在実行しているよりも多くのGBと異なるパーティションが必要になる場合があります。Unified Communications Manager および IM and Presence Service リリース 15への直接アップグレードは、HDD サイズを手動で 110 GBに変更した場合でも、すべての単一の80GB vDisk展開で失敗します。</p> <p>アップグレード前にvRAM とvDisk の仕様を確認するには、リリース 15のベースOVAのReadmeを参照するか、QuoteCollabツールを使用します。</p> <p>その他の参考資料については、次を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 仮想マシン設定タスク VMware を更新します。 • vDisk を更新するには、リリース 12.5 または 14 および SU バージョンを、vDisk が 110GB としてインストールされている新しい VMware にバックアップまたは復元します。ここでは、直接アップグレードが成功します。または、PCD 移行またはデータインポートタスクの移行を伴う新規インストールを使用して、Unified CM リリース 15 OVA テンプレートで展開された新しいノードに移動します。

.. [www.cisco.com go virtualized-collaboration](http://www.cisco.com/go/virtualized-collaboration) に移動して、仮想化環境の要件に関する詳細情報を確認できます。ここでは、次のことが可能です。

- Unified Communications ManagerおよびIM and Presence Serviceアプリケーションのリンクに従って、リリースの要件を確認し、ova ファイルをダウンロードします。
- 「Unified Communications VMware 要件」トピックを検索して、機能サポートとベストプラクティスに関する情報を検索します。

アップグレードの一環として別のVMサイズに移行したいと思います。VM設定の仕様を編集できますか。

VM設定の仕様を編集する前に、OVA ReadMe ファイルを確認して、アップグレードするリリースの特定の要件を確認してください。OVA ファイルには、仮想マシン設定用の一連の定義済みテンプレートが用意されています。サポートされているキャパシティレベル、必要なOS/VM/SANの配置などの項目について説明します。OVA ファイルから使用する正しいVM設定は、展開のサイズに基づいています。

OVA ファイルの詳細については、..[www.cisco.com go virtualized-collaboration](http://www.cisco.com/go/virtualized-collaboration) の「Unified Communications 仮想化のサイジングに関するガイドライン」のトピックを検索してください。

OVA ファイルを取得するには、「OVA テンプレートのダウンロードとインストール」を参照してください。

管理 XML (AXL) インターフェイスを使用して情報にアクセスし、変更Unified Communications Managerするアプリケーションがあります。アプリケーションは、Unified Communications Managerアップグレード後も動作し続けますか。

AXL アプリケーションのアップグレードの詳細については、<https://developer.cisco.com/site/axl/learn/how-to/upgrade-to-a-new-axl-schema.gsp> を参照してください。使用しているリリースでサポートされている AXL 操作のリストを表示するには、<https://developer.cisco.com/site/axl/documents/operations-by-release/> を参照してください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。